

よねざわ

市議会だより

Yonezawa City Council



米沢のおぼこ

※おぼこは山形(置賜地方)の方言で「こども」という意味です。



南部保育園

総括、12月定例会議案等、常任委員会	2～4P
予算特別委員会	5P
訂正、一般質問(11名)	6～11P
常任委員会管外行政視察報告、 議会報研修会報告	12～13P
議会報告会・意見交換会	14～15P
中学校出前市議会	16～17P
3月定例会日程、議場見学、写真募集、 あとがき	18P



vol.176

令和6年2月1日

米沢市議会



塩井保育園



12月定例会

11月28日～12月15日

議案23件を 原案のとおり可決

令和5年12月定例会は、11月28日から12月15日までの18日間の会期で開会しました。

初日の本会議では、報告案件1件を了承し、専決処分1件を承認した後、議案16件及び請願1件を各委員会にそれぞれ付託しました。

11月30日、12月1日及び4日には11名の議員による一般質問を行いました。また、4日の本会議では追加議案6件、5日の本会議では追加議案2件をそれぞれ上程し、所管の委員会に付託しました。

6日には総務文教常任委員会、7日には民生常任委員会、8日には産業建設常任委員会をそれぞれ開き、議案及び請願の審査を行いました。11日には予算特別委員会を開き、補正予算案件8件について審査を行いました。

最終日の本会議では、各委員長報告を行い、議案23件を全て原案のとおり可決し、請願1件を採択しました。また、「議第70号米沢市立学校の設置等に関する条例の一部改正について」、閉会中の継続審査の申出があり可決しました。

また、議員発議による「医療機関・介護施設への支援の拡充と、患者・利用者の負担を軽減し診療報酬・介護報酬を大幅に引き上げるための意見書の提出について」を原案のとおり可決しました。

最後に、「中川勝市長の退任に伴う表敬決議」を原案のとおり可決した後、市長から退任のあいさつがあり、12月定例会を閉会しました。

12月定例会で審議された議案

◆については、賛否が分かれた議案です。

議案番号	議 案 名	結 果
報第17号	専決処分事件の報告について	承認
承第2号	専決処分事件の承認を求めることについて	承認
議第64号	市民バス（万世線）の指定管理者の指定について	可決
議第65号	市民バス（市街地循環路線）の指定管理者の指定について	可決
議第66号	米沢市上杉博物館の指定管理者の指定について	可決
議第67号	米沢市長の在任期間に関する条例の廃止について	可決
議第68号	米沢市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決
議第69号	米沢市博物館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第70号	米沢市立学校の設置等に関する条例の一部改正について	継続※
議第71号	米沢市職員の高齢者部分休業に関する条例の設定について	可決
議第72号	米沢市営駅前自転車駐車場及び米沢市営駅東自転車駐車場の指定管理者の指定について	可決
議第73号	米沢市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例の一部改正について	可決
議第74号	米沢市児童福祉施設設置条例の一部改正について	可決
議第75号	米沢市犯罪被害者等支援条例の設定について	可決
議第76号	置賜広域観光案内センター等の指定管理者の指定について	可決
議第77号	令和5年度米沢市一般会計補正予算（第9号）	可決
議第78号	令和5年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）	可決
議第79号	令和5年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）	可決
議第80号	米沢市特別職の職員の給与に関する条例及び米沢市病院事業の管理者の給与等に関する条例の一部改正について	可決◆
議第81号	米沢市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決
議第82号	令和5年度米沢市一般会計補正予算（第10号）	可決

議案番号	議 案 名	結果
議第83号	令和5年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）	可決
議第84号	令和5年度米沢市後期高齢者医療費特別会計補正予算（第1号）	可決
議第85号	令和5年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）	可決
議第86号	米沢市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
議第87号	令和5年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第4号）	可決
請願第3号	医療機関・介護施設への支援の拡充と、患者・利用者の負担を軽減し診療報酬・介護報酬を大幅に引き上げるための意見書提出方請願	採択
発議第7号	医療機関・介護施設への支援の拡充と、患者・利用者の負担を軽減し診療報酬・介護報酬を大幅に引き上げるための意見書の提出について	可決
発議第8号	中川勝市長の退任に伴う表敬決議	可決

※「議第70号米沢市立学校の設置等に関する条例の一部改正について」は、付託先の総務文教常任委員会より閉会中の継続審査の申出があり、本会議において閉会中の継続審査とすることと決まりました。

議案等の賛否一覧表

◆12月定例会において賛否が分かれた議案等についてのみ掲載しています。

会派 議員名 議案番号	採決 結果	一新会								至誠会					市民平和クラブ				米沢爽風会			日本共産党米沢市議団		公明党	
		佐野 洋平	成澤 和音	高橋 千夏	関谷 幸子	鳥海 隆太	島軒 純一	齋藤 千恵子	工藤 正雄	植松 美穂	古山 悠生	島貴 宏幸	木村 芳浩	相田 克平	小久保 広信	影澤 政夫	太田 克典	我妻 徳雄	山村 明	堤 郁雄	遠藤 隆一	高橋 英夫	高橋 壽	山田 富佐子	佐藤 弘司
議第80号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
議第70号に 係る継続審査 の申出	可決	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

○=賛成 ×=反対

相田克平議長は採決に加わりません。

12月定例会で審議した請願・意見書の結果は次のとおりです。

請 願	意見書
..... 採 択 ◆医療機関・介護施設への支援の拡充と、患者・利用者の負担を軽減し診療報酬・介護報酬を大幅に引き上げるための意見書提出方請願（請願第3号） 山形県医療労働組合連合会 執行委員長 渡辺 勇仁	 可 決 ◆医療機関・介護施設への支援の拡充と、患者・利用者の負担を軽減し診療報酬・介護報酬を大幅に引き上げるための意見書の提出について（発議第7号）（内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣あて） ※12月定例会最終日に議員提出の意見書1件を原案のとおり可決し、直ちに関係機関に送付しました。

〔委員〕万世線については、八幡原中核工業団地内で就業する障がい者の方が利用するためのルート変更が予定されており、障がい者の方の利用

が昨今問題になっているが、そのことが指定管理者公募の審査結果等に与えている影響をどのように捉えているか。
〔地域振興課長〕今回指定しようとする事業者については、運転手を確保した上で応募していますが、市としても運転手の成り手不足は認識しており、今後、運転手の確保については何らかの支援を検討していかなければならないと考えています。

▼市民バス（万世線）の指定管理者の指定について
本案は、市民バス（万世線）の管理を行わせる指定管理者について、令和6年度から1年間指定しようとするものです。
〔委員〕運転手の成り手不足

総務文教



各常任委員会から質疑の主なものをお知らせします。

委員会報告

の増加が見込まれるが、今後どのような点に注意して運行していく考えか。

〔地域振興課長〕事業者には、障がい者の方が利用する際に、車椅子への配慮や乗降に対するサポートを行うことを義務づけています。また、事業者からの提案で独自のチェックシートを作成し、利用者への接遇や運転中の注意事項などを確認する取組を行うこととなつていきます。そのチェックシートには、障がい者の方への対応について確認する項目も含まれていることから、そのような取組を通して、障がい者の方についても一定水準のサービスが提供できるものと考えています。



▲市民バス万世線の車両

▼米沢市博物館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

本案は、博物館法の一部改正に伴い、所要の改正を行うものとするものです。

【委員】他の博物館等と協力して刊行物及び情報の交換、資料の相互貸借等を行うことを定めている現行の条例第3条第9号が改正により削除されるが、ここで定める事業は今後どうなるのか。

【社会教育文化課長】博物館法第3条の改正内容に合わせ、現行の条例第3条第9号は削除となりますが、今まで現行の第3条第9号に基づき行ってきた事業については、今後は改正後の第3条第12号「その他米沢市教育委員会が必要と認める事業」に含めて、引き続き行っていきたいと考えています。



▲伝国の杜外観

民生



▼米沢市犯罪被害者等支援条例の設定について

本案は、犯罪被害者等の支援に関し、基本理念を定め、市、市民等及び事業者の責務を明らかにするとともに、犯罪被害者等の支援に関する施策の基本となる事項を定めようとするものです。

【委員】犯罪被害者への支援のうち費用がかかる支援にはどのようなものがあるのか。

【環境生活課長】国の犯罪被害者等給付金の支給の対象となった場合、国の給付金が支給されるまでの間の生活支援として市から給付金を支給する制度について、令和6年4月1日からの運用を検討しています。

【委員】条例第2条第1号の犯罪等の定義で「これに準ずる心身に有害な影響を及ぼす行為」とはどのようなものか。

【環境生活課長】ストーカー行為には当たらないが警告の対象となるような付きまといや、DV等で手を出してはいないが暴言を吐いたり無視したりする行為を想定しています。その行為が犯罪等に当た

るかは、相談者からの聞き取りや関係機関への相談・意見聴取をした上で判断していく必要があると考えています。



【委員】「これに準ずる心身に有害な影響を及ぼす行為」に当たるかを判断する基準が曖昧ではないか。

【市民環境部長】「これに準ずる心身に有害な影響を及ぼす行為」とは、刑法に規定される犯罪に類する行動と同様の行為と考えており、それに当たるかどうかは状況によって様々な場合が想定されることから、明確に規定するのではなく、条文中で示している規定の中で運用していきたいと考えています。

【委員】犯罪等に当たるかを判断する際の運用を明文化すべきではないか。

【市民環境部長】今回の条例の制定に当たって逐条解説を準備していることから、その内容を公表することにより、市民の方にご理解いただけるようにしたいと考えています。

産業建設



▼置賜広域観光案内センター等の指定管理者の指定について

本案は、置賜広域観光案内センター等の管理を行わせる指定管理者について、令和6年度から5年間指定しようとするものです。

【委員】現在の指定管理者を引き続き指定するに当たり、現在の指定管理期間における振り返りや課題点の確認等は行ったのか。

【観光課長】指定管理者から毎月入り込み客数を報告していただいているほか、定期的な打合せを行う中で、施設管理に関する確認や自主事業の実施に関する調整をしながら事業を進めてきました。

【委員】現在の指定管理期間は新型コロナウイルス感染症の影響により入り込み客数の変動が大きかったと思うが、その点を踏まえどのような対応をしたのか。

【観光課長】令和4年に入ってから観光客数が回復してきており、特に外国人観光客が増加してきたことに対応するため、常時英語等で案内が可能な体制を整えています。

今後丁寧な観光案内に努めていきたいと考えています。

【委員】コワーキングスペースの利用に関して利用料金制度を導入する考えはあるか。

【観光課長】コワーキングスペースについては、現在の開館時間を精査する必要があると考えており、利用に関するアンケートを実施する予定であるため、その結果を考慮しながら利用料金制度の導入を検討していきたいと考えています。

【委員】コワーキングスペースにおける自主事業はどのようなものを検討しているのか。

【観光課長】指定しようとする事業者から、市内にあるほかのコワーキングスペースと連携したセミナーの開催などについてご提案をいただいています。



▲コワーキングスペースの様子

予算特別委員会

12月11日に開かれた予算特別委員会から
質疑の主なものをお知らせします。



令和5年度米沢市一般会計 補正予算(第9号)

〔委員〕 債務負担行為の補正では、指定管理者の委託料について、自転車等駐車場、置賜広域観光案内センター、上杉博物館で、会計年度任用職員制度の導入に伴い人件費を増額することだが、これは市の会計年度任用職員の賃金に準じた額を計上しているのか。また、5年間の人事院勧告分の賃金はどのように見込んだのか。

〔財政課長〕 指定管理における賃金は会計年度任用職員の報酬等をベースに算定をしておりますが、非公募の施設で独自の賃金を適用しているところは、聞き取り内容を基に計上しています。

また、人事院勧告によって会計年度任用職員の報酬単価が改定された際には、当初予算に上昇分の金額を上乗せして計上しています。

〔関連及び通産による質問〕
〔委員〕 子どものインフルエ

ンザワクチン接種の助成制度について、県内及び置賜3市5町の自治体の実施状況はどうか。また、本市では、これまで任意接種だから助成を実施しないとしていたが、県内でも数多くの市町村が助成している。任意接種だから実施しないのは理由にならないのではないか。

〔健康課長〕 接種の助成状況は、令和5年7月1日現在で、県内35市町村中31の市町村が助成しており、実施していないのは、山形市、米沢市、鶴岡市、三川町の4市町で、置賜管内では、米沢市以外は全て実施している状況です。本市では、予防接種法に基づく定期接種について実施するのが望ましいと答弁してきたところですが、令和6年度から新型コロナウイルスワクチンの定期接種化について国で検討されており、今後は、国の動向や本市の財政状況等を踏まえながら総合的に検討させていただきます。

〔委員〕 小中学校の給食について、本市独自で給食の無償化を行う必要があると考えるが、教育委員会として給食の無償化を行う考えはあるか。

〔学校教育課長〕 給食費については、学校給食法において、人件費及び施設整備費等に係る経費は設置者が負担し、それ以外の経費については保護者の負担とすると定められていることから、本市では、保護者に対し食料費のみを給食費として負担をお願いしています。給食費の無償化の実施は、国の施策として実現するべきものと考えています。



▲本市の学校給食

〔委員〕 南成中学校建設の際、屋内運動場にエアコンを設置する予定はないとのことだが、設計変更してもエアコンを設置すべきではないか。また、避難所として活用していくことを考えればスポットクーラ

ーでは不十分であり、エアコン設置について積極的に対応すべきではないか。

〔教育総務課長〕 中学校の屋内運動場について、現時点においては、エアコンを設置する予定はありません。避難所として活用する場合は、屋内運動場以外の冷房が効く教室等の活用を含めて、柔軟に対応していきます。

〔委員〕 介護保険事業の介護保険サービスで、福祉用具購入や住宅改修を利用した場合、保険給付費の受領委任払いという制度があるが、令和3、4年度の実績は何件あったか。また、このような制度があることを積極的に利用者に周知すべきではないか。

〔高齢福祉課長〕 福祉用具購入については、令和3年度は309件のうち受領委任払いは14件、令和4年度は289件のうち24件でした。

住宅改修については、令和3年度は176件のうち受領委任払いは11件、令和4年度は163件のうち11件でした。また、受領委任払いについては、事業者の負担もあり、制度の周知は慎重に考えなければなりません。利用者に情報が届くよう改めて考えていきます。



▲住宅の出入口に設置された手すり

〔委員〕 市立病院に勤務するパートタイムの会計年度任用職員で、特に医師事務作業補助者は、慢性的な残業体質にあり、フルタイムの会計年度任用職員にする必要があるのではないか。また、令和4年12月に総務省から会計年度任用職員制度の適正な運用等について、具体的な勤務実態を把握した上で毎年度見直しを行う必要がある旨の通知が出された。そのことを踏まえ勤務時間の実態把握をきちんと行っているのか。

〔病院総務課長〕 毎月の時間外勤務命令書により、実態を把握しており、慢性的な残業については、職員の人数を増やすことで対応したいと考えています。

〔病院事務局長〕 来年度については、職員を増員し極力時間外勤務とならないように対応していきたいと考えています。

一般質問について説明します

Q 一般質問ってなに??

A

一般質問とは、議員個人が市長や教育長等に対して行うものです。市政全般に関する事務の執行状況や政策方針についての質問、意見を伝えることができます。これにより、現行の政策の変更や、新規の政策を採用することもあります。



Q どんなふうにするの??

A

12月定例会では、議員一人当たり60分の持ち時間として、一人ずつ質問を行いました。11月30日、12月1日、12月4日の3日間で11名の議員が質問しました。



各議員の氏名下部にあるQRコードを読み取ると、議会での録画映像をご視聴いただくことができます。

訂正

令和5年11月1日発行の175号P11影澤政夫議員の一般質問「森林環境譲与税の本市の具体的な取組」の質問に対する答弁部分について、森林環境譲与税（国税）の事業内容を掲載すべきところを、誤って、やまがた緑環境税（県税）を活用した事業内容となっていました。お詫びして訂正させていただきます。

- 【森林環境譲与税（国税）】
- 主に公的な森林整備に要する費用に活用しています。
 - 航空レーザー測量関連事業（森林資源の解析や森林評価）
 - 木材利用促進事業（ベレットストーブなどの設置費用に対する補助）など
- 【やまがた緑環境税（県税）】
- ◎主に森林所有者が自ら管理する場合の支援などに活用しています。
 - 小学校等との連携による森林学習などの里山体験事業
 - 緩衝林帯の下刈りなどを行う景観保全事業など



いっしんかい
一新会

とりおか
りゅうた
鳥海 隆太 議員



市の未来、新総合計画策定

まちづくり総合計画のこれまでの実績はどうか。

〔企画調整部長〕 実績について、重点事業の東北中央自動車道建設促進事業は、福島米沢北間の開通と、道の駅米沢をオープンしました。財政健全化の推進は、平成26年度に98・1%まで上昇した経常収

支比率が、近年は90%台前半まで改善し、基金残高は約13億円から令和4年度末には約42億円へ財政状況が改善しました。新病院の整備は、市立病院と三友堂病院が同時開院し、地域医療構想の実現に向けた体制を構築しました。総括の手段や時期、また、見直す点や継続する点はどうか。

〔企画調整部長〕 内容は、議会並びに設置予定の総合計画審議会などに示し、意見を計画策定に生かしたいと考えています。人口減少社会への対応は、新たな総合計画でも検討の必要があると考えます。策定に向けた作業に入ると

思うが、時期や体制、進め方等、どのように行っていくのか。

〔企画調整部長〕 基本構想の期間は令和8年度から10年間です。令和6年度に現行計画の施策の評価、検証、見直し作業を行います。また、市民アンケートの実施やワークシ

ョップを開催します。年度末に基本構想案を取りまとめ、令和7年度には、施策の検討や重点事業の設定などを進め、議会議決を予定しています。策定体制は、総合計画審議会を設置するとともに、総合計画策定会議を組織し、庁内各部署間の調整を行います。施策の検討には、各部署からの職員でプロジェクトチームを設置し施策を練り上げます。

各地方自治体でも似たような総合計画が策定されている。本市においてはどう進められているか。

〔企画調整部長〕 似通った総

合計画は、構成や内容が類似してしまうものと思いますが、学園都市の独自性を持たせた計画としています。米沢らしい、市民の皆様が誇りを持つ計画となるよう進めます。





にほんきょうさんとうしぎだん
日本共産党市議員

たかはし ひでお
高橋 英夫
議員



脱炭素の取組を実現し、産業振興や雇用の増大を

環境省に申請する脱炭素先行地域の事業が選定された場合、産業振興や雇用の増大についてどのような可能性があると考えられるか。

〔市民環境部長〕 再生可能エネルギーの導入を進め、エネルギーの地産地消が実現すれば、

ば、仮に域外に流出しているエネルギー代金の3分の1に当たる約65億円を地域内循環させることができれば、雇用も創出されます。また、安価な電力の供給により地域が豊かに、暮らしが快適になると認識しています。



にほんきょうさんとうしぎだん
日本共産党市議員

たかはし ひさし
高橋 寿
議員



学校給食共同調理場の調理業務の人員費の積算根拠は

学校給食共同調理場の予定価格における人員費とその算出根拠はどのようなものか。また、共同調理場の調理員の人数をどの程度と考えたのか。

〔教育長〕 予定価格はアドバイザー業務を委託している事業者の支援を受け算出して

移住定住の取組の進捗状況はどうか

移住定住ウェブサイトもリニューアルし、新型コロナウイルス感染症の5類への移行で人の流れを生み出す条件が前進していると考えるが実状は。

〔企画調整部長〕 ウェブサイトの閲覧件数は開設から7か月で5800回あり、前年同期の約3倍です。移住相談は今年度7か月で32件あり、前年同期の19件を上回っています。東京ビッグサイトで行われたグッドライフフェアでの移住相談コーナーには3日間

共同調理場開業後の正規調理師と非正規調理師の数は

認を行っていないところです。共同調理場が稼働する前の令和7年度と、稼働後の令和8年度では、小学校の正規職員調理師と会計年度任用職員調理師の数はそれぞれどう変わるのか。会計年度任用職員調理師は何人任用されないことになるのか。

〔教育長〕 現時点における令和7年度及び令和8年度の小学校給食調理場の正規職員数は28人の見込みです。本市の調理師配置基準にお

で129名が来場し、お試しまわし体験事業に結びついた例もありました。

本市における猫対策はどうなっているか

猫ボランティアの方々は、飼い主のいない猫を捕獲して不妊去勢手術を施し、元いた地域に帰す活動を行っているが、その費用は自前であり、限界がある。補助金制度を作れないか。また、猫問題の受皿となり得る愛護団体の組織化を模索してはどうか。

〔市民環境部長〕 現在、先進事例や近隣市町の整備内容を

ける小学校に配置される予定の調理師の人数は、児童生徒数の見込みから推計すると令和7年度が49人、令和8年度が34人と見込んでいますが、実際の配置については、各小学校の調理現場の状況を考慮し、人数を加配するなどの配慮を行っていますので、現時点では、配置基準による人数としてお知らせします。

この配置基準を満たすためには、令和7年度は21人、令和8年度に6人を正規職員以外の職員で充足する必要がある見込みです。なお、この人数には再任用職員の数が含ま

研究し補助制度の整備について前向きに検討を進めています。また、今後の取組体制を考えると、市内に愛護団体があれば相談への対応も早くできるのではないかと、との期待感もあります。



▶環境省の試算では1頭のメスから3年で2千頭になる

れ、会計年度任用職員の人数は再任用職員を除いた人数に、実際の配置計画で加配する人数を加えた人数となります。





しせいかい
至誠会

ふるやま
古山 悠生
議員



今夏の農作物の被害状況は

今夏は記録的な猛暑となったが、農作物の被害状況とその対応は。

〔産業部長〕 米は平年並みの収穫量であったものの、白米熟粒の発生による等級落ちが多く見られ、リンゴは全般的に着色不良や日焼け被害により収穫量が減少となりました。

市単独の支援は現時点では検討していませんが、降霜、高温などの被害を受けた農業者の再生産及び経営の維持、安定を目的に、山形県の利子補給事業である令和5年の異常気象被害対策資金が発動されましたので、本制度の周知を図り、県と連携して迅速に支援を行うこととしています。



▲日焼けや着色不良などの影響を受けたリンゴ

自転車の交通マナーを向上させる取組強化が必要では

自転車による交通事故が増

加しているが、自転車の交通マナーの向上についてどのように取り組んでいるのか。

〔市民環境部長〕 交通安全関係団体と協力し、毎年、交通安全県民運動の期間に市営駅前自転車駐車場やJR南米沢駅などで、のぼりを掲出し、自転車の交通ルール遵守やマナー向上の呼びかけを行っています。また、自転車の利用が多い高校生に対して、学校に出向き、ヘルメット着用や交通ルールの遵守を呼びかける活動や、啓発うちわを配布するなど各種啓発活動を行っています。

住み続けられる地域づくりのために

人口が減少する中で、地域コミュニティを維持していくために、どのようなサポートが必要だと考えているか。

〔企画調整部長〕 地域の課題を洗い出し、どう対処していくか、2つの地区をモデル地区として地域カルテを題材に話し合いを進めていく予定です。次年度以降もこのような取組をほかの地区に広げ、住民主体の地域づくりに向け、話し合いの場と機会づくりの支援をしていきます。

読書に親しめる環境づくり

市立図書館で児童生徒以外の大人に読書通帳を配布し読書意欲を高められないか。また、その費用にふるさと応援寄附金を利用できないか。

〔教育管理部長〕 大人への読書通帳の配布は考えていません。読書通帳システムの更新時には、ふるさと応援寄附金の活用も含め、関係課と協議してまいります。



こうめいとう
公明党

やまだふさこ
山田富佐子
議員



带状疱疹予防ワクチンの接種費用の助成を

带状疱疹罹患者の本市の状況は。また、带状疱疹が日常生活に及ぼす影響についてどのように考えているか。

〔健康福祉部長〕 米沢市国民健康保険の被保険者の带状疱疹発症数については、令和3年度241人、令和4年度で

は273人で32人増加しています。そのうち65歳から74歳が令和3年度は71・8%、令和4年度は72・2%の発症で、高齢者が多い状況です。

また、発症例の10%から50%で、带状疱疹後神経痛が生じるとの報告があります。痛みの症状や程度は個人により異なりますが、焼けるような締めつけられるような持続性

の痛みで睡眠や日常生活を害するほど重篤な場合があると認識しています。

増加傾向にある带状疱疹を予防するため、全国的にワクチン接種費用の公費助成を行っている。昨年は48自治体が助成していたが、令和5年11月末には326自治体で助成しており、来年度実施予定を含めると400自治体となる。米沢市医師会からの要望書も提出されている。ワクチン接種の助成は、病気の予防だけでなく、健康寿命の延伸、医療費抑制、介護予防に貢献できると思うが助成の考えは



※地域カルテ：国勢調査などの統計データを使い、町名単位で現在と将来の人口などを見る化したもの。



よねざわそうふうかい
米沢爽風会

遠藤 隆一 議員



子どもの安全安心を最優先とした行政の在り方は

障がい児童支援施設における虐待事案への対応は。

【健康福祉部長】 県と連携して指導を行い、早急な改善を促しています。保護者への対応は、若干遅れたところがあったと思いますが、対応の見直しを行っています。

特別支援学校における通学

手段の問題と今後の対応は。

【健康福祉部長】 生徒の移動

手段の確保についてさらに検討し、子どもの安全安心が保たれるよう努めていきます。

中学校における熱中症事案

の経験を省みて、体育館の空調整備の計画は。

【教育指導部長】 スポットクー

ラーを活用したいと考えてお



しみんへいわ
市民平和クラブ

影澤 政夫 議員



米沢市版DMOへの運営関与の認識は

交付金の支出が多く見込まれる事業計画について、今後の運営等に関わる本市の認識について伺う。

【産業部長】 DMOの運営に

ついては、しっかりと自治体に関わっていくことも大事であると観光庁の方針でも示さ



り、空調設備の整備についての検討はしていません。

子どもを守る条例を制定すべきではないか。

【健康福祉部長】 今後、子ども

の権利を守る条例制定については調査研究していきます。

本市における高等学校教育

の現状認識と将来展望は

高校の存在は地域づくりの

根幹をなすものと考えてるが、

本市の考えは。

【教育長】 公立、私立ともに

学校の特色を十分に発揮して

いるものと認識しています。それぞれの高校の特色につい

れており、市が連携していくという部分はとても重要なことだと思っています。

米沢市の平和都市宣言の重みと意義を伝える場を

ソフト面ばかりではなく、公園の整備や市民が共に平和を願う場、モニメントの設置等を求めるがどうか。

【総務部長】 平和都市宣言の

重みということを十分に実感

しています。ソフト面だけでは

なくハード面というご提案

でしたが、いろいろな面を研究させていただきながら、いかに平和への願いを浸透させ

て中学生が十分に理解し、自分自身の将来の希望を実現できるような指導が重要と考えます。いろいろな子どもの二



▲令和7年度に統合が予定されている米沢工業高校

ることができると考えています。

当初の事業計画と大きく違う光熱水費の直接負担

米沢市学校給食共同調理場基本構想・基本計画の当初案は、15年間の債務負担行為とする事業費に光熱水費も含んでいたのではないか。

【教育管理部長】 令和8年4

月までに建物が完成し、設備

を入れ、引き渡しの予定ですが、光熱水費については、そ

れ以降15年間にわたり支払い

続けることとなります。15年間という長いスパンの中で支

ーズに応じた学びができる高校が設置されていくように、県にも働きかけていく必要があると考えます。

米沢の魅力発信による移住促進と関係人口の創出を

保育留学と暮らし体験、及び情報発信による効果はつながりが複利的に広がることを期待するが本市の考えは。

【企画調整部長】 移住体験希

望者のニーズに対応しながら、本市の魅力情報を発信してい

ただけるよう、期間のほか、体験内容などの拡充を検討し

ていきたいと考えています。

払っていくので、光熱水費の高騰などを的確に見積りすることは難しいという観点から、このたび入札公告に当たって本市から光熱水費を支払うと判断しました。

当初事業計画の大幅な変更であり、計画が間違っていたのではないか。

【教育管理部長】 契約金額から

光熱水費は除いていますが、全体的な事業費としては、当

然ながら光熱水費は入っています。ご理解いただきたいと

思います。

※DMO（ディスティネーション・マネジメント・オーガニゼーション）：地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域づくりを行う法人



いっしんかい
一新会

佐野の
洋平
議員



数々の中心政策の中から
中川市政2期8年を振り返る

平成27年12月の就任からの
本市の人口動態と取組は。

〔企画調整部長〕 国勢調査に
おける本市の人口は、平成7
年の9万5592人をピーク
に減少局面となり、平成27年
には8万5953人、令和2
年には8万1252人で、平

成7年と令和2年を比較する
と、1万4千人余り、約15%
の減少となっています。平成
28年3月に、2060年まで
の将来人口を推計した米沢市
人口ビジョンを取りまとめ、
米沢市まち・ひと・しごと創
生総合戦略を策定しました。
子育て世帯の経済的負担の軽
減や屋内遊戯施設整備による
子育て支援策、移住・定住の

促進や市外から人を呼び込む
交流人口の拡大に向けた取
組、本市と継続的に関わって
もらう関係人口の創出などに
取り組んできました。
健康長寿日本一の取組の振
り返り。

〔健康福祉部長〕 令和元年12
月に「米沢市健康長寿のまち
づくり推進条例」を制定し、
健康長寿のまちづくりを推進
してきました。特に、平成30
年からは、「食生活の改善」
「健診受診率の向上」「身体
活動・運動の推進」を重点事
業として取り組みました。令
和5年11月に策定した「米沢

海水は基準値より2.2度高
く、スーパールニニョと呼
ばれ、世界的に異常気象を
起こしている。例年と比べ暖
かい冬となる予想だが、上杉
雪灯籠まつり開催への対策は。
〔産業部長〕 気象庁の3か月
予報では、北日本の日本海側
の降雪量は平年並みか少なく
なると見込まれています。少
雪になった場合は、雪灯籠の
制作数の削減や、関連イベン
トの一部中止などを検討し、
雪不足の状況にあっても、雪
を使用しない他の手法で皆様
に楽しんでもらえるよう柔軟
に対応していきたいと考えて



市健康長寿日本一推進プラン」
では、健康増進分野と自殺対
策分野、その2つの分野を支
える環境整備分野の3本柱で
各施策に取り組めます。

米沢ブランド戦略の取組の
振り返り。
〔産業部長〕 平成30年度に市
民参画の下、「鷹山公のDN
A『挑戦と創造』」の力で、次
の米沢をつくる。」として、
「モノ」「コト」に加え「ヒ
ト」にも注目し、米沢全体の
価値を高めるブランド化を目
指す市民運動を進めてきまし
た。今後は、市の職員一人一
人においても、「挑戦と創造」
を率先し、米沢市役所全体の
磨き上げとブランディングを
進めていきます。

います。

今冬は暖冬で本市の積雪は
少ないと予想されるが、異常
気象による「どか雪」がない
とは限らない。除排雪業務へ
の対応についてどのように考
えているか。

〔建設部長〕 除排雪業者は、
暖冬少雪でも、除雪車両のリ
ース代や除雪オペレーターの
人件費等の固定費がかかるこ
とから、除排雪業務委託契約
に基づき、累積降雪量・最大
積雪深が過去10年平均に満た
なかった場合、補償料を支払
うこととしています。



よねざわそうふうかい
米沢爽風会

山村の
明
議員



市道の街路樹の落ち葉処理

10月中旬に金池地区の高齢
の方から、「街路樹のイチヨ
ウの落ち葉が強風により道
路・歩道・民家敷地に大量に
運ばれてきて大変困っている
」と相談を受けた。当局は把握
しているか。

〔建設部長〕 道路上の落ち葉
については年2〜3回路面清

掃を実施しています。特にイ
チヨウの樹種は落ち葉で市民
の方にご迷惑をおかけしてお
り、パトロールなどを強化し、
落葉のタイムミングを見据えて
タイムリーに清掃できるよう
配慮しています。湿った落ち
葉は、清掃車での吸い込みが
できないなどの課題もあり苦
慮していますが、効率のよい
維持管理に努めていきたいと



▶ 街路樹とイチヨウの落ち葉

今冬は暖冬が心配されるが
どうか

8月以降の南米ペルー沖の

一般質問



市民平和クラブ
市長 田中 志保

太田 克典 議員



学校施設を使用する際の使用料の取扱い

学童保育所の関係者から、「小学校体育館を使用する際に使用料が減免されなかった」という声が寄せられた。どのような理由によるものか。

〔教育長〕 今回の使用許可に当たっては、放課後児童健全育成事業の活動を行う団体で

はあるものの、学童保育の閉所日である日曜日に行われる親子行事であり、内部関係者の私益的なもので本来の活動とは異なる理由であったことから、公益上必要とするには無理があるとして使用料を納入していただきました。
この取扱いは、ほかの学童保育所やこれまでの取扱いと変わっていないか。

〔健康管理部長〕 変わっておりません。

今回の学童保育所の事業は本来の学童保育所の事業ではないと言えるのか。

〔健康管理部長〕 国の補助要綱や運営指針に基づいて運営していたということになっていますが、今回の場合、時間が8時間以上でないの当該としてはおりません。

今年度の出生数は400人を割り込むことが予想され、少子化対策・子育て支援は喫緊の課題である。学童保育所が、児童が通う学校の体育館を借りて子どもたちを遊ばせ

たいというときに、米沢市は使用料を取るのか。「子育てするなら米沢市」を唱える子育て支援の流れに逆行していないか。

〔健康管理部長〕 ご指摘については納得すべきところもありますが、今回の件は学童クラブの閉所日であり、学童本来の目的で使用するわけではないということから、使用目的が公益上必要ではないという判断に基づいて減免しなかったということです。

学童保育所は団体として減免すべきである。また、学校施設のほか、各コミセンも減

免該当となるよう見直すべきと考えるがどうか。
〔健康管理部長〕 来年度も引き続き、例規にのっとって適切に判断していきます。



一新会
議員 斎藤 千恵子



廃食用油のリサイクルの促進に向けて

廃棄物系バイオマス利活用は、低炭素社会や循環型社会の構築の観点から大変重要であり、廃食用油を分別収集し再資源化することは、この難題への現場からの具体的な解決の小さい一つの方法である

と考える。本市の廃食用油のリサイクルの現状は。
〔市民環境部長〕 ゼロカーボンシティを目指す本市では、こうした取組による循環型のシステムや廃棄物の削減と再資源化は重要な課題と認識しています。廃食用油の回収の取組等はまだまだですが、再度先進事例を研究し具体的に道筋をつけていく検討を進めます。事業所等からの廃食用油の

公職の選挙の通称認定申請書と開票資料の基準は

開票資料に書いた旧姓は今回の市議選で無効となったが、どのように判断したのか。

〔選挙管理委員会委員長〕 開票状況に応じて旧姓を採用するかどうか効力判定会議の中

で判定しています。例えば、同姓や同名の方が複数の場合等様々あり、一概にあらかじめ基準を設けるものではないと認識しています。もちろん旧姓は採用される場合もあり得ると考えています。

女性議員が5人になった本市議会であるが、こうした中、今後、候補者に混乱を招くことのないよう、より一層基準の明確化・周知の徹底に努めていたいただきたいがどうか。

〔選挙管理委員会委員長〕 投票が有効か無効かの基準、判定が客観的な条件により左右される場合があることについ

て、今後、立候補の際の事前説明会や選挙立会人説明会などで丁寧かつ十分な説明を行っていきます。



▲令和5年4月23日執行米沢市議会議員選挙開票の様子

一般質問の記事は、各議員が要約して執筆しています。

※除害施設：法令で下水道に害を及ぼすと規定されている有害物質（油脂等）を排水から取り除くための施設。食堂の厨房等に設置されている。

総務文教常任委員会

令和5年11月6日～8日

視察テーマ

地域公共交通

各務原市では、ダイヤを設定せず登録会員からの申込受付があった場合に運行するデマンド型公共交通サービス「チョイソコかかみがはら」の本格運行を、2年間の実証運行を経て令和4年10月から開始しました。ドアツードアのサービスであるタクシーとは異なり、設定された運行エリア内の各停留所間を、1乗車当たりの固定料金で運行していました。また、会員向けにフラワーアレンジメント教室等の「お出かけイベント」を開催し、交通手段の確保に加えて、高齢者の方の外出の機会づくりにも取り組んでいました。

美濃加茂市では、1乗車100円のコミュニティバス「あい愛バス」を、市内9路線で運行していました。以前から運行していたバスについて平成29年度にダイヤ・路線等の大幅な再編を行い、以降、市民ニーズに合わせてダイヤ等の改正を毎年行っており、令和4年度の利用者は、ダイヤ等の大幅な再編前の平成28年度と比較して約8倍に増加しているとのことでした。また、障がい者の方や運転免許自主返納者の方の乗車料



▲美濃加茂市のコミュニティバス「あい愛バス」

金の無料措置や、バスの乗り方講座の開催、LINEでバスの位置情報に分かるサービスの導入など、様々な取組を行っていました。

富士市では、公共交通に関する基本計画である地域公共交通計画に加え、コロナ禍による公共交通利用者の急激な減少に対応するため、地域公共交通利便増進実施計画を策定し、路線バスの再編等に取り組んでいました。また、公共交通の利用促進に関する基本理念や行政・市民・事業者の役割・責務を明示した条例の制定に加え、コミュニティバスの運行について条件付きで地区の負担を求めるルールを制定するなど、住民との協働性に特色のある施策を展開していました。

LOCATION

●岐阜県各務原市
●岐阜県美濃加茂市
●静岡県富士市

民生常任委員会

令和5年10月30日～11月1日

視察テーマ

防災・減災

松山市は、全国一の防災士数を誇っており、市内に8700人超いる防災士を核にして、小学生、中学生、高校生、大学生、地域の自主防災組織と防災士、企業、福祉施設、外国人を対象として全世代型防災教育を行っていました。全小中学校に防災士の教員がおり、中学1年生は、学校でマイタイムラインづくりの指導を受けて、家に帰ってから家族と松山市のマイタイムライン防災アプリで共有しているとのことでした。

新居浜市では、18の小学校区ごとに防災訓練を実施しており、企画から当日の進行までを自治会や自主防災組織が中心となって担っています。訓練は、地域特性に応じた構成としており、地域住民が参加しやすい内容となっているとのことでした。また、新居浜市防災士ネットワークに委託して、小中学生、小中学校の教職員などを対象にHUGという避難所運営ゲームを行うことで、防災教育に取り組んでいました。

坂出市では、危機管理課の出前講座で、街歩き防災マップ作りのほか、DIGという災害図上訓練や、防災



▲倉敷市での視察の様子

に関する質問に対してグループワークでイエスカノーかを答えるクロスロードなどの各種防災ゲームを行っており、様々なゲームを出前講座で行うところから始めているとのことでした。

倉敷市では、平成30年の豪雨災害の折に浮かび上がった課題について、貴重なお話をいただきました。課題には、①災害本部の体制が十分でなかった点、②情報の一元化ができなかった点、③職員間の情報共有がうまくいかなかった点（罹災証明の発行、避難所の統合・閉鎖スケジュールなどの情報）、④通信手段の脆弱性などがあったとのことでした。

LOCATION

●愛媛県松山市
●愛媛県新居浜市
●香川県坂出市
●岡山県倉敷市

令和5年11月6日～8日

産業建設常任委員会

LOCATION

●鳥取県米子市
●島根県雲南市
●島根県江津市

視察テーマ

空き家・空き地対策

米子市では、平成31年4月に米子市空き家バンクを設置し、空き家の有効活用に取り組んでいます。空き家バンクでは状態のよい物件を多く取り扱っており、空き家のマッチングにより産前産後ケアハウスとして活用されている事例もありました。また、令和4年度から既存住宅状況調査等に係る費用の一部を助成する制度を開始しており、中古住宅の隠れた不具合や設備の老朽化等への不安が解消されることで流通促進につながることが期待しているとのことでした。

雲南市では、移住定住施策の一つとして空き家バンクを運営しており、専属スタッフとして空き家の情報収集及び移住定住希望者への情報提供等を行う定住推進員を配置しています。令和2年度には、取引の際のトラブル防止のため、それまで任意としていた空き家バンクへの登録時の業者の仲介を必須とする新方式に移行し、「うんなんモデル」として定着しつつあるとのことでした。また、空き家の活用事例として、宿泊スペースを兼ね備えたコワーキングスペース

ス「オトナリ」があり、お試し移住体験の施設としても利用されているとのことでした。

江津市では、農山村部で空き家が増え続ける現状と、空き家を利用して移住したいという田舎暮らし志向者のニーズを捉え、平成18年度から他地域に先駆けて、定住促進や地域の活性化のために空き家を活用する取組を開始しました。また、平成22年度より、江津市内で新しいビジネスに挑戦する人をまちぐるみで応援する仕組みとして、ビジネスプランコンテスト「Go・Con」を実施し、受賞者を中心とした駅前商店街の活性化の取組の結果、駅前空き店舗の活用も実現したとのことでした。



▲雲南市「オトナリ」現地視察の様子

研修報告

山形県市議会議長会

議会報研修会

情報量を整理し、写真を活用

議会報研修会でポイント学ぶ

山形県市議会議長会が主催する議会報研修会が令和5年11月2日に、山形県鶴岡市のグランドエル・サンにて開かれました。県内からは12市議会96名、当市議会からは議会だより編集委員の6名が出席しました。一般社団法人自治体広報広聴研究所の金井茂樹代表理事を講師に迎え、「伝わる議会報の企画と編集」と題して、講演をいただいたほか、各自自治体の議会だよりにおける講評をいただきました。金井氏から、近年の議会報について、会議録型のものから読み物型のものに変化している事例をスライドを使って説明いただき、「紙面いっぱいを使うのではなく、余白も利用したり、写真を大きく使っ



▲議会報研修会の様子

米沢市議会だよりの講評ポイント

評価ポイント

- 表紙の子ども達の写真が生き生きしている
- 裏表紙の統一感がある

改善ポイント

- 行間が狭い
- 委員会報告の文字数が多いため、情報量の整理が必要
- 写真をもっと活用した方がいい
- 一般質問のリード文（簡単な説明）があった方がいい

たりして、読者を意識した議会報をつくる必要がある」と編集のポイントを紹介いただきました。

最後に、本市の議会だよりについて講評をいただき、表紙の写真の選定がよかったとお褒めいただいた一方で、行間の狭さや文字数が多く読みにくいという点を指摘いただきました。この指摘いただいたポイントを中心に、今後、手に取っていただき、多くの方に読んでいただける議会だよりをつくっていききたいと思います。

議会だより編集委員長

成澤 和音

第12回『議会報告会・意見交換会』

生きた政策提言づくり に向けて



12月17日（日）、第12回『議会報告会・意見交換会』を市議会において開催しました。

本市議会ではこれまで、各常任委員会が2年ごとに調査・研究するテーマを設定し、視察や意見交換を行い、市長に対し政策提言等を行ってきました。今回も、その内容について市民の皆様からも意見をいただきたいと考え実施したものです。

今回は、中学生から70代までの40名の方々に対面でご意見をお聞きする形式で行いました。

総務文教常任委員会

テーマ

『持続可能な地域公共交通を
目指して』

民生常任委員会

テーマ

『米沢市の防災・減災を
考えよう』

産業建設常任委員会

テーマ

『空き家・空き地を活かし
米沢を未来へ』

私たちの暮らしになくってはならない車。でも、もし車を持っていなかったら？免許を返納したら？車がなくても暮らし続けられるためには公共交通の充実が必要不可欠です。私たち総務文教常任委員会では、「持続可能な地域公共交通を目指して」をテーマに設定し、政策提言に向け活動しています。11月に行った管外行政視察では、デマンドタクシーやコミュニティバスなどの視察を行ってまいりました。それぞれの地域事情に合わせた市民が利用しやすい交通機関であることだけでなく、市民が自分たちで公共交通を『乗って支える』意識を醸成する取組の重要性を学んできました。

総務文教常任委員会



バスチケットの配付、カーシェアリングの導入などの意見が出されました。③では、バスの利用を促進するイベントの開催や支援、「少し不便でも公共交通を使っていこう」という市民の意識の変容が必要だという意見が出されました。

住んでいる地域も様々で多様な視点からご意見をいただきました。①では、バス停が遠い、便数が少ないなどバスに関する事、また、デマンドタクシーについては、乗降エリアが限られ、対象地域以外の人は利用できないことやダイヤが不便なことなどが挙げられました。②では、市内全域へのデマンドタクシーの拡充や免許返納者へのバスチケットの配付、

議会報告会・意見交換会では、冒頭に趣旨説明と視察地の事例紹介を行い、その後に議員8名を含む19名が3グループに分かれ、①ここが問題、米沢市の公共交通②公共交通、どんなのがいい？③そのために何が必要？の3つのテーマについてワークショップ形式で話し合ってもらいました。参加者は学生や高齢者など、年齢や職種、

市民や交通事業者など様々な人たちの想いがひとつになって成り立つものです。そのために関係者の想いをつないでいくことが行政や議会の大変な役割です。皆様からいただいたご意見を参考に、課題を整理し、未来に向けた政策提言ができるように取り組んでまいります。

総務文教常任委員長 古山 悠生

民生常任委員会では、市民14名と、委員に議長を加えた議員8名が3グループに分かれ、自主防災組織にテーマの範囲を絞ってグループワーク形式で意見交換会を行いました。

初めに、民生常任委員会で視察してきた松山市・新居浜市・坂出市・倉敷市の、自主防災組織の在り方の事例紹介と、本市の自主防災組織の現状と課題を説明しました。

参加者からは、「防災教育について、学校でハザードマップを学んだり、参観日に防災訓練をしたりしてはどうか」「山形県には、活断層型地震の発生確率の高い地域が固まっているので、防災教育に生かせるのではないか」、また、「経験者

(消防士) などから講義をしてもらいたい」との意見があり、参加した消防署員から、「発信したい消防士がた

くさんいるので、活用してもらいたい」との提案がありました。

「防災士については、防災士が何を

する人か分からないので、役割の

ア

ピールが必要だと思う。」「防災士を

もつと増やし、町内に最低1人の防

民生常任委員会



災士を養成するように市が支援すべきだ。」「防災士の集まりや情報交換会を提案しているがなかなか行われない現状である。」「若い人の防災意識を高めるため大学（山形大学工学部・米沢女子短期大学・米沢栄養大学）に防災士養成講座を設けてもらい、若い人が参加できるような仕組みを作ってはどうか」との意見がありました。

自主防災組織については、「町内会役員と自主防災組織の役員を別に担当したほうがよいのではないか」「リーダーとして動く人がいない」との意見や、自主防災組織の活動での要配慮者のケアについては、個人情報保護の観点からなかなか踏み込めない

が、玄関先に色分けしたカードを出して、状況を把握している地域の例も出されました。

今回の意見交換会でいただいた貴重な意見を参考にして、防災・減災について政策提言に向けて検討を進めてまいります。

民生常任委員長 関谷 幸子

空き家や空き地を米沢市の空間資源として捉え、皆さんで「トライ」しようとの呼びかけに15名（内2名中学生）の市民の方々にお集まりいただきました。

まず、委員長から米沢市空家等対策計画（中間見直し）について、市民からのアンケート調査内容や実数による本市の実態について課題提起を行い、議員8名を含む23名で3班構成のワークショップを行いました。

私たちが目指すべきは、旅人を大切にする街、新しい宿場町をつくること、出入りが活発で、人口が増える街をつくりたいということであり、その魅力は、誰にとつても感じられるよう、できるだけ皆で計画するべきという意見。また、人口減少や少子化といった問題に対しても、米沢の魅力である大

自然や四季を活かした方策を考えることが重要であり、それには、空き家や空き地を有効活用し、土地の魅力を高め、人々が集まる活気あるコミュニティを形成すること、関係人口の増加を目指す仕組みづくりが重要であるという意見。

具体的に身近なところでは、除雪機や

産業建設常任委員会



タイヤ、冬期間中の自転車の保管場所、レンタルスペース、排雪スペース、民泊（シェアハウスなど）、学生が活動できる場所、犬の遊び場、運動場、太陽光パネルの設置場所など、さまざまな用途で空き家や空き地を活用するべきという意見。空き家の整理やリフォームを通じて、移住希望者の体験宿泊にも利用し、地域の高齢者が話せる居場所、サークルや学生

団体が気軽に利用できる場所、にぎわいを作る場所に活用すべきという意見。

実現に向けた必要な手段としては、空き家や空き地のランク分けによって、それぞれの有効活用方法を検討することや、無償利用の枠組みを設け、所有者と市が利用できるような新たな仕組みをつくること。学校教育でも

空き家セミナー等を題材に将来への意識醸成を図ること。最終的には空き地を買いやすいようにする条例の制定も含めて、ご意見をいただきました。

私たちは、今回の意見交換会でいただいた意見を政策提言に活かし、地域の活性化と持続可能な未来を目指してまいります。

産業建設常任委員長 影澤 政夫

市議会を開催



▲放送劇『危ない通学路なんとかすっぺ』を上映している様子

米沢市議会では「中学校出前市議会」を毎年企画しています。これは、議員全員が、直接各中学校に行つて、放送劇や質疑応答を通じて、生徒たちに政治参加についての意義を分かりやすく説明する大切な機会として取り組んでおります。

『みなさん、中学生になると5年後には選挙に行けるんですよ。これってすごいことですよね。だって、自分たちの意見で社会を変えられるんですから。』精一杯の笑顔とトークで今年も開催させていただきました。

今回の放送劇は、中学生が下校中に歩道のない狭く危険な通学路で、車にもう少しでひかれそうになったことがきっかけとなり、市議会を通して歩道の設置が決まるまでのお話です。一人の市議会議員が活躍し、保護者や地域を巻き込み、様々な方々に思いの輪が広がり、歩道を整備するための予算が議会で議決されるまでの過程を米沢弁を交えてユーモラスに描いています。題材が身近な通学路ということもあり、中学生の皆さんから「市議会の仕組み」や「地域での様々な活動」「道路整備の大変さ」も含めて「理解できた」「分かりやすかった」との反応をいただいております。

以前は劇のスライドに合わせ、議員がそれぞれの役柄を書いた紙を頭につけた朗読劇を見ていただいていたのですが、今回は、議会広報広聴委員会が中心となって作成したスライドに合わせてあらかじめ議員が声をあてた放送劇を見ていただき、多くの中学生の皆さんからよい反応をいただいたことで胸をなでおろしております。

劇の鑑賞後には、劇中のことに限らず各班市議会議員が様々な質問にリアルに答える質疑応答の時間を設けました。各校のアンケートを見ると「女性が5人しかいないのは残念」「色々な話が聞けた」「議員が身近に感じた」「18歳になったら必ず選挙に行く」「自分も議員になってみよう」

等の積極的な意見もありました。また、アンケートで身近な困りごとを聞いたところ、各学区の状況や地域の課題、市内への交通アクセスの課題、若者向けの施設の要望、中学校の施設に対する要望などがありました。単に要望としてではなく、様々な建設的な意見が非常に多かったことについても、大きな手ごたえを感じました。

一方で、一定の反省もあり、議員間で検証を怠らず研さんし、よりよい事業にしていきたいと思っております。

結びに、開催に当たり、教育委員会や選挙管理委員会、校長先生をはじめ教職員の皆様にご理解とご協力をいただいたことにお礼を申し上げます。

議会広報広聴委員長 影澤 政夫



▲生徒との質疑応答

第8回 中学校出前

～みんなの感想～

● 第一中学校 3年生

議員というのは堅苦しくて難しいものだと思っていたけど、話を聞くと身近な存在であり米沢を良くするために一生懸命頑張っているんだなあとと思った。

あたしもこの米沢という土地に生まれたので、米沢を良くするために頑張ってくれる議員さんを選ぶために積極的に選挙に投票したいなと感じた。

日常の問題に関心を持ち、今日学んだことを今後に生かせるように精一杯努めたい。

● 第二中学校 3年生

市議会とは、私たち市民の声に応じてくれるとても重要なところだと思いました。

まだ、選挙権を持たない私たちの考える、米沢のためになることは市議会議員の皆さんに伝えて、米沢を私たちの手でもより良い市にしていきたいです。また、選挙についても興味を持つことができました。18歳になったら、必ず選挙に行きたいと思います。

● 第三中学校 2年生

色々な自分の市のことについて知れたので良かったと思いました。米沢には色々な困り事など自分の身近には問題があるんだと思いました。

● 第五中学校 3年生

議員の方々は私たちの身近なところに居るので、もっと相談などしていきたいです。

私も18歳になったら、選挙に行こうと思いました。

● 第六中学校 3年生

市議会議員の方をより身近に感じる事が出来た。たくさんの経験を持っている人がいれば、若手でアイデアマンの方もいらっしゃるので、これからの米沢市の政治が楽しみです。

自分も政治を左右する投票の一票を入れられるようになりたい。これからも頑張ってください。これからも宜しくおねがいします。

● 第四中学校 1年生

今日の出前市議会では、感じたことがあります。それは、心のなかに思っていることを溜めるのではなく、積極的に意見を発言し、変えていかなきゃいけないなと思いました。一人の意見で市、町が変わることがあるってすごいなと感じました。それは議会だけではなく、学校の話し合いでも積極的に意見を発し、変えていくことが大事だなと思いました。また、発言をするだけではなく、他の人から意見を聞いて、それを行動に変えるのも、すごく大事だなと思いました。

● 第七中学校 3年生

祖父が他の都市で議員をしていて、その市ごとに政策が違ったり、課題が違ったりして興味深く感じました。また、議員さんがとてもユーモアに溢れていて、良いなと思いました。

中学生の皆さんから中学校出前市議会に参加した感想をいただきましたので、その中の一部を掲載させていただきました。素晴らしい感想をいただきありがとうございました。

市議会3月定例会 日程(予定)のお知らせ

- 2月26日(月) 開会(本会議)
- 28日(水) 代表質問
- 29日(木) 代表質問・一般質問
- 3月 1日(金) 一般質問
- 4日(月) 予算特別委員会(補正予算)
- 5日(火) 総務文教常任委員会
- 6日(水) 民生常任委員会
- 7日(木) 産業建設常任委員会
- 8日(金) 予算特別委員会
- 11日(月) 本会議(補正予算採決)
予算特別委員会
- 12日(火) 予算特別委員会
- 13日(水) 予算特別委員会
- 14日(木) 予算特別委員会
- 22日(金) 最終日(本会議)



※ 請願の提出期限は、2月16日(金)午後5時の予定です。
※ 日程は変更されることがありますので、傍聴の際は
議会事務局までお問い合わせください。
Tel.22-5111 内線5303・5304

2月26日(月)は、 「きもの議会」です

昭和54年2月の臨時会で開催
されて以来、例年3月定例会初日
には「きもの議会」を開催しており、
令和6年3月定例会で46回目と
なります。当日は、米沢繊維協議
会の皆様にご協力いただき、着付
けが行われます。



スポット 本会議場へようこそ

10月26日上郷小学校3年生29名が、本会議場を見学しました。議場では、議会の仕組みや設備などについて説明を受け、自分たちの生活との関わりなどを学習しました。質問をする際は、実際に本会議で議員が使用しているマイクを使いました。面白かった、こんなところで話し合いをしているのかと思った、などの感想を聞くことができました。



▲議員席に座り議場機器の使い方などの説明を聞いている様子



▲熱心にメモを取りながら説明を聞いている様子



▲議員席に座り質問をしている様子

※写真は、学校より許可をいただき掲載しています。

表紙写真を募集します

市民の皆様にも親しまれる議会だよりを目指し、表紙に使用する写真を募集しています。
皆様からの自慢の写真のご応募をお待ちしております！

募集該当号と応募期間

令和6年8月1日号(令和6年2月1日～令和6年5月31日)

※議会だよりは、年4回発行しております。各号の募集期間が異なります。

応募方法

市議会ホームページ内の募集要領をお読みの上、写真のほか、応募用紙に記入し提出してください。詳細は、ホームページからご確認ください。



あしがき

米沢市では積雪もなく穏やかな元日でしたが、石川県能登地方では大きな地震が発生し、甚大な被害を及ぼしました。被災された皆様方には心からお見舞い申し上げます。さて、米沢市に住民登録されている人口は、7万6千人を下回ったことが市ホームページの人口統計で明らかになっています。高齢化も進み、市全体のおよそ5世帯に1世帯が高齢者の一人世帯や高齢者だけの世帯になっています。人口減少・高齢化が進む中で、私たちはどのように災害に備えたいのでしょうか。

一人一人が取り組む「自助」、隣近所や町内会などの「共助」、市や県、国など公的機関による「公助」など、この機会にそれぞれの役割をみんな考えてみませんか。

【編集委員 太田 克典】

○議会だより編集委員会○

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 成澤 和音 |
| 副委員長 | 植松 美穂 |
| 委員 | 太田 克典 |
| | 遠藤 隆一 |
| | 高橋 英夫 |
| | 佐藤 弘司 |